



▲岡山大学病院構内に乗り入れている路線バス

岡山大学病院では3月26日から、岡山電気軌道（岡山市北区岡南町）の路線バスが構内へ乗り入れている。外来診療棟（医科）玄関前に停留所「大学病院（構内）」が新設され、通院患者や見舞客の利便性が大幅に向上した。

JR岡山駅、天満屋バスセンターを発着して病院前を経由している7系統のうち、3系統が乗り入れ。これまで病院北側の市道沿いにある最寄りの停留所「大学病院入口」から病院玄関までの距離は約100メートルだったが、乗り入れにより約10メートルに短縮した。平日昼間は、岡山駅から約5〜10分間隔、天満屋から約20分間隔で発車している。

大学病院では、外来診療が始まる午前8時半ごろを中心に、周辺道路の渋滞が慢性化していたことから、岡山電気軌道にバス乗り入れを依頼。同社は昨年12月、中国運輸局に運行事業計画の変更を申請し、3月に認可された。大学病院は渋滞緩和につながるよう、院内掲示やHPなどで構内乗り入れをPRし、バス利用を呼びかけていく。

# TOPICS 2

通院や見舞い もっと便利に  
大学病院構内へバス乗り入れ

## 国際交流活発化へ 中国に新拠点 北京事務所を開設

# TOPICS 3

岡山大学は4月1日、中国で3番目の海外事務所となる北京事務所を開設した。首都師範大学国際文化学院内に設置されている広島大学北京研究センターを共同利用し運営。中国国内の活動拠点を増やすことで、優秀な留学生を獲得し、研究交流の活発化を目指す。



▲北京事務所開所式に出席した森田学長（右から2人目）ら

が就任。当面は月1回現地で勤務し、現地スタッフとともに、岡山大学のPR活動▽留学生の確保▽岡山大学から中国の大学への留学支援▽研究者同士の交流支援▽留学生同窓会中国支部の活動支援―などの業務に取り組む。

中国国内では07年に、東北師範大学内に長春事務所、中国医科大学内に瀋陽事務所を開設している。

北京事務所長には、大学院社会文化科学研究科教授を2012年3月に退職した下定雅弘名誉教授（中国古典文学）



▲商品発表会で試食する学生



▲新商品と登録商標



## 統一ブランド「岡大農場」誕生！ 3種の新スイーツ発売



▲「大学は美味しい」フェアでの販売ブース=新宿高島屋

岡山大学農学部は、附属山陽圏フィールド科学センターで生産された農産物や加工品を販売する際の統一ブランドとして、「岡大農場」を商標登録した。第1弾として、同センター産の白桃を使ったジュレなど新商品3種を開発、5月11日から販売を始めた。

新商品3種は「岡大農場ジュレ白桃」（525円）、「岡大農場ぷりん白桃」（252円）、「岡大農場アイス白桃」（315円）。同センターの生産物を使った土産物としては、初のスイーツ商品。2011年産の白桃を使用し、地元産果物を使った菓子作りで実績のある岡山県青果物販売と共同開発した。商品のラベルデザインは森田学長が監修した。初年度は原料の白桃に限りがあるため、ジュレ500本、ぷりんとアイスは各7000個の限定販売となる。岡山県内では、天満屋岡山店（岡山市）、岡山空港（同）、天満屋倉敷店（倉敷市）、アリオ倉敷（同）で常設販売するほか、大学生協や全国イベントでも販売する。

5月8日には同学部で商品発表会が開かれ、試食した学生には「桃の味が濃厚」「手軽にゼいたくできる感じ」と好評。発売初の大型イベントとなる「第5回『大学は美味しい!!』フェア」（5月30日〜6月5日、東京・新宿高島屋）にも出品し、来場者の人気を集めた。

同学部では「岡大農場の商品を通じて、岡山大学のイメージアップにつなげたい」としている。